9月定例議会一般質問（要約）

議会だより

口村　光房　議員

質問　健康遊具の設置について

健康長寿のためには運動が欠かせない。

高齢者が筋力、バランス、柔軟性などを高めるための遊具が工夫され、全国の自治体で活用されている。

健康に対する意識や意欲の向上に加え、コミュニケーションの場としても有効であり、本町としても公園等へ設置すべきと考えるがどうか。

回答　町長

高齢者の健康づくりの一環として、健康遊具を公園等に設置する自治体が全国的に増加傾向にある。

町では高齢者の健康づくりのために各地区での健康教室や健康相談、会食交流会、また転倒予防体操を取り入れた健康サロン等を行なっているが、屋外での健康増進を図る施設は現在のところ設置されていない。

今回の高齢者に対応した健康遊具の設置については、誰でも、いつでも、気軽に利用ができ、また、自分のペースで体を動かすことで、健康増進、介護予防にも繋がることや交流の場としても重要だと考えている。

高齢者の健康については重要な課題であり、高齢者等の意見も聞いた上で健康遊具の設置について検討していく。

安達　静香　議員

質問1　島前高校通学における支援について

島前高校魅力化プロジェクトにより、本町から島前高校への入学者数は近年増加傾向にある。

町の将来を担う生徒が安心して通学でき、保護者の負担を軽減するためにも、陸上における交通機関の支援が必要であると考える。

中でも塾に通う子ども達への帰宅の陸上交通機関の支援については、学童保育で利用しているようなタクシーの利用も一つの方法と考えるが所見を伺う。

回答　町長

隠岐島前高校は、過去に入学者が28人と激減し統廃合の危機に直面した。

地元から高校を失うことは、親の経済的負担や子育て世代の流失にも繋がることから存続を最優先に考え、全学年の2クラス化を目指し、高校と地元島前3町村の協働による島前高校魅力化プロジェクトとして、全国高校総体派遣費助成や強化合宿費用助成等の部活支援、授業魅力化支援、内航船の無料化、海外修学旅行費助成、島留学制度等の入校勧誘等の事業に取り組んできた。

その成果もあり、全学年が2クラス化と初期の目的を果たしている。

中でも内航船の無料化事業は、高校が地元にある海士の生徒と西ノ島や知夫から通う生徒が費用負担の面で、同じ条件で通えるよう実施されたものであり、また、帰りの船便については、部活や塾に合わせた時間帯で増便しているなど、かなり配慮されたものであると思っている。

さらに、平成22年度からは授業料も無償化されるなど、近年の高校進学を取り巻く環境は、以前と比べ格段に良くなっている。

高校進学は義務教育ではなく本人や家族の意志によって決定されるものであり、また、部活や塾についても同様に本人や家族が望んで取り組んでいることである。

地域外の高校へ行けば保護者の労力負担は少ない代わりに離れて暮らすことでの精神的な負担、また、寮やアパート、下宿生活に伴う経済的な負担が非常に大きく、逆に地域内の高校であれば経済的な負担は少なくて済むが、保護者の労力負担は当然あるものだと思っている。

これらのことを総合的に勘案すると、島外の高校等へ通学する生徒に比較すると格段の支援、配慮がされていると思っているので、陸上交通網の確保の問題については、例えば保護者間で連携しあいながら対応するなどでご理解をいただきたい。

質問2　エネルギーの地産地消ができるまちづくりを

中国電力による、蓄電池実証実験がスタートすることを好機と捉え、再生可能エネルギーの地産地消の実現を目指すべきと考えるが所見を伺う。

回答　町長

現在、本町の再生可能エネルギーの利用促進に係る取り組みは、住宅用の太陽光発電設備導入に助成制度を設け促進を図っており、公共施設も役場本庁舎と中央公民館に太陽光発電を整備し、現在、建設中の西ノ島小中学校にも太陽光発電設備の整備を進めている。

また、省エネ設備の導入促進として、公用車に3台の電気自動車の導入を行なっている。

以前には、本町でも遊休地を利用してメガソーラーの計画等もあったが、本土と送電線が繋がっていない離島等では、大規模な太陽光発電や風力発電を利用した電気の供給体制は確立されておらず、受け入れ側の中国電力の同意が得られず実現しなかった経緯などもあった。

この度、竣工する中国電力のハイブリッド蓄電池システム実証事業は、これまで不可能とされていた隠岐諸島のような電力供給ネットワークの小さな離島地域等でも再生可能エネルギーの大量導入が可能となる全国初の画期的なものであることから、町としても中国電力と連携しながらＰＲに努めることとしている。

このように、再生可能エネルギーの活用には持続的に安定供給が可能となるのか、また、施設整備のコストや整備後の維持管理費用の問題等、あらゆる観点から実現性の検討をする必要がある。

エネルギーの地産地消ができるまちづくりをという質問については、様々な資源のエネルギーの利活用について、新エネルギー計画を策定し取り組むこととしている。

この計画策定には、本町の条件に即した実現性の高い取り組みや今後、取り組む必要のある利活用案など方向性も模索しながら策定したい。

中濵　堯介　議員

質問　放置小型船舶の実態把握について

台風や津波発生時の被害拡大を防止する為に、放置小型船舶（プレジャーボートを含む）の実態を把握する必要があると思うが、現状及びその対策について伺う。

回答　町長

日本小型船舶検査機構によると、町内の小型船舶登録数は約３００隻である。

各港内の目視による巡視で町管理の漁港と港湾では、船揚場を中心に整備中・仮置き・放置状態らしき小型船舶が30隻から40隻程度置かれているが、それらは風雨・荒天時の対策が適度に行なわれており、今のところ悪質で明らかな廃船等は未確認である。

災害時の危険除去の対策としては、今後は船舶の適正な管理を行なうよう注意喚起の看板設置等を検討し、漁港・港湾施設の管理上支障がある場合、船舶の所有者を特定のうえ、移動や廃棄処理の手続きを行なうよう指導していく。

島前病院だより

春より、新しいメンバーが島前病院に加わります。宜しくお願いします。

島本（しまもと）　小百合（さゆり）
看　護　師

出　身　隠岐の島町
趣　味　海遊び、旅行

産休あけて、9月中旬より仕事復帰しました。

仕事内容を思い出しながら、外来をウロウロしています(笑)よろしくお願いします。

池ケ谷（いけがや）　あかね
看　護　師

出　身　東京都
趣　味　読書

２年前にも半年間、島前病院でお世話になりました。

今回は職員としてもどってくることができ、とても嬉しいです。

まだまだ慣れないことが多いですが、頑張りますので、よろしくお願いします。

門脇（かどわき）　正朋（まさとも）
理学療法士

出　身　島根県松江市
趣　味　音楽、釣り、ヨガ

島での暮らしは戸惑いがたくさんありますが、楽しく暮らして、楽しく働きたいです。

美味しいものや楽しいことがある時は、ぜひ声を掛けてやって下さい！

大岡（おおおか）　将石（しょうすけ）
看護助手

出　身　京都府
趣　味　サイクリング、木工、インターネット

島に渡って来て、まだ１ヶ月と少ししかたっていませんが、島の生活に慣れるように頑張りたいと思います。